

第3章 基本理念と基本方針

1. 基本理念

(1) 基本理念

第1期計画から第3期計画の基本理念を第4期計画においても継承し、「人間力の育成」とします。「自立して力強く生き抜く力」である「人間力」を高めることは、教育の普遍的な目標と捉えています。

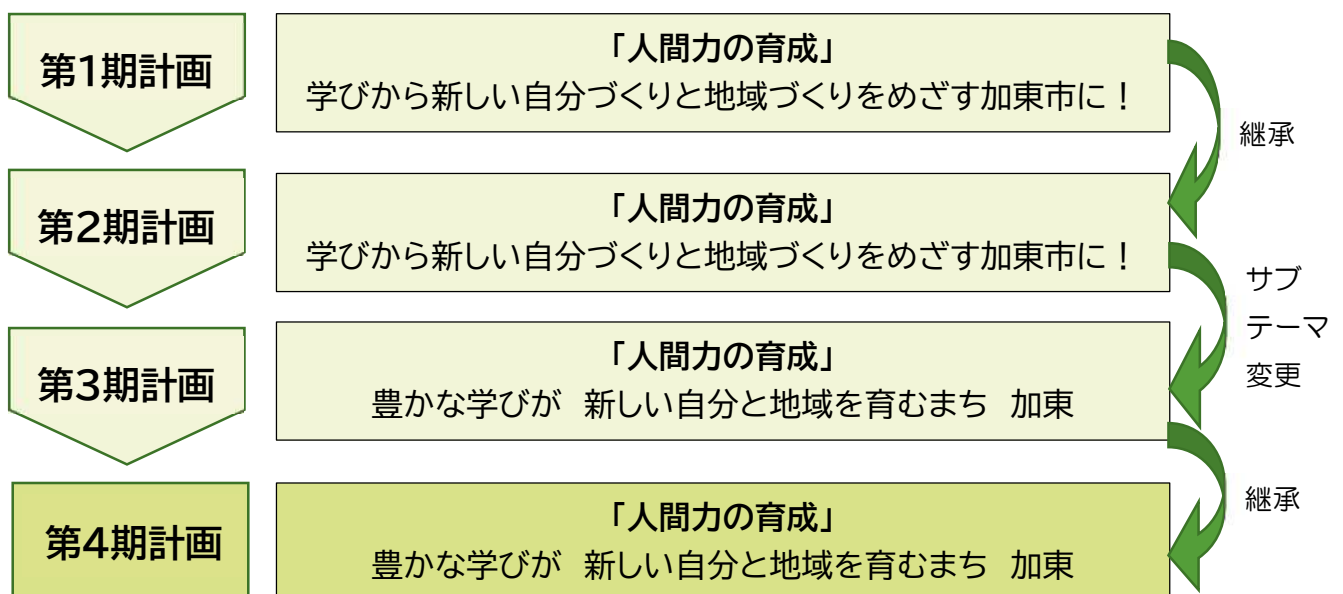
「人間力」とは、社会を構築し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力とされています。「人間力」を構成する3つの要素は「知的能力的要素」、「社会・対人関係力的要素」、「自己制御的要素」で、これらの3つの要素を総合的にバランスよく高めることが、人間力を育成することとなります。

幼児から高齢者まで、人はそれぞれのライフステージにおける自らの学びや他者との学び合いによって、「新しいことが分かった」「できた」など自分が変わることの喜びや生きがいを感じ、その中で、一人の人間として心身ともに成長していくものです。学校だけでなく、家庭や地域社会において生涯にわたって続けていく「豊かな学び」により、「人間力」の構成要素である「知的能力的要素」を高めます。また、人との関わりの中で「社会・対人関係力的要素」であるコミュニケーションスキルやリーダーシップ、規範意識などを培います。そして、この2つの要素は、学び続けたい、社会に貢献したいという意欲、信念をもって粘り強く取り組む忍耐力、自分らしい生き方や成功を追求する力である「自己制御的要素」が基盤となっています。

加東市では、第3期計画において、知識や体験に基づく「豊かな学び」を通して、これら3つの要素を総合的にバランスよく高め、人間力を育成することに努めてきました。

また、「豊かな学び」は、自らの成長だけでなく地域づくりにもつながるもので、学んだことを生かして地域で協働しながら、地域の課題を解決してきました。

これからの社会は、予測困難な時代であると言われます。第4期計画においても、引き続きサブテーマを「豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東」とし、更なる実現をめざしていきます。



(2) 重点テーマ

加東市は、人間力を「自立して力強く生き抜く力」と捉えています。これまでも本市では、発達障害のある子どもや不登校傾向の子ども等を含むすべての子どもたちに対し、個に応じた「自立と社会参加」に向けた様々な支援を行ってきました。引き続き一人一人を大切にしたい教育を進めながら、この人間力の育成は、確固たる目標として積極的に取り組みます。

また、本市は、生涯にわたる共生社会の実現に向け、引き続き人権を大切にしたい取組に尽力します。そこで、第4期計画の「重点テーマ」を次のとおりとします。

【重点テーマ】

**「自立して力強く生き抜く力」の育成
「だれもが尊重される生涯学習社会」の創造**

すべての人が、心豊かに力強く生き抜き、自らの人生を切り拓く力を備えて、自立した個人として自らを律し、自己を確立することをめざし、「自立して力強く生き抜く力」を育成します。

また、性別や年齢、疾病や障害の有無、国籍や民族の文化的背景などを問わず、だれもが自らの興味・関心に基づいて、主体的に学び続けることができる環境づくりを目標に「だれもが尊重される生涯学習社会」を創造します。

(3) めざす人間像

夢や志をもち努力することは、この厳しい社会を「自立して力強く生き抜いていく」ための原動力になると考えます。人生100年時代。子どもも大人も、生涯にわたりいつまでも自分の可能性を信じ、ふるさと加東市に限らず、自分が住むまちをもっと豊かにするために、主体的に行動、創造できる人になってほしいと願います。

そこで、第4期計画の「めざす人間像」を次のとおりとします。

【めざす人間像】

**○夢や志をもち、生涯を通じて学び続け、自己の可能性を高めていく人
○ふるさと加東を愛し、共に支え合いながら、豊かな社会を創造していく人**

人口構造の変化や、社会情勢の変化など、将来の予測が困難な時代において、それらの変化の中でも、自らの可能性を信じ、生涯にわたって自分らしく主体的に学び続け、自らの夢や志の実現につなげることができる人の育成をめざします。

また、自らが生まれ、育ち、共に暮らすふるさと加東市を大切に想い、愛着や誇りをもつとともに、地域における性別、年齢、価値観などに関わらず多様な人々と共に生きる共生の心をもち、つながり、支え合いながら、地域の一員として豊かな社会の創造に取り組む人の育成をめざします。

2. 基本方針と基本的方向

(1) 基本方針と基本的方向

基本方針Ⅰでは、夢に挑み自立する子どもを育成するために、これまで加東市が推進してきた小中一貫教育を更に充実させます。

基本方針Ⅱでは、こどもまんなか社会の実現に向けて、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、ソフト面やハード面の両面において社会全体で支える取組を引き続き進めます。

基本方針Ⅲにおいて、加東市は、学校教育、社会教育、家庭教育などを含む生涯学習を大切にしたいと考えるため、引き続き、加東市の基本方針の一つとして積極的に進めます。

そこで、第4期計画の「基本方針」を次の3つとし、基本的方向を以下のとおりとします。

・基本方針Ⅰ 夢に挑み自立する子どもを育む教育の推進

～学びのつながりを大切にした小中一貫教育の充実～

子どもの発達段階や多様なニーズを踏まえて、未来を切り拓く子どもを育むために、小中一貫教育を通して、個々の子どもについての適性、学びの連続性を大切にした教育の充実を図ります。

未来を切り拓いていくための「生きる力」として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、個々の興味・関心、適性を踏まえ、基礎的な知識・技能を習得するとともに、探究的な学びの過程を重視し、主体的に学ぶ力を育成します。また、ふるさとへの誇りをもって、地域へ貢献しようとする意欲を育てるとともに、キャリア形成を図る取組を進めながら、夢や志をもって課題に挑戦していく力を育成します。

障害などにより支援が必要な子どもたちに対し、一人一人の特性に合った支援を行い、障害の有無に関わらず、共に学び合うインクルーシブ教育の充実を図ります。さらに、子どもや家庭が抱える様々な課題に向き合い、誰一人取り残されることがない教育を推進します。

また、幼児期の子どもの学びや育ちについて、生活や遊びの体験を通して、心身の調和のとれた発達を図るとともに、教育・保育に関わる大人が連携・協働し、幼児期から児童期の学びへの連続性を図ります。

基本的方向(1)「確かな学力」の育成

基本的方向(2)夢や志をもち挑戦する力の育成

基本的方向(3)「豊かな心」の育成

基本的方向(4)「健やかな体」の育成

基本的方向(5)インクルーシブ教育の充実

基本的方向(6)幼児教育の充実



おいもほり

・基本方針Ⅱ 子どもの学びを支える教育環境の整備・充実

子どもたちの豊かな学びを実現するために、各学校・校種間の積極的な連携を推進し学習環境を整備するとともに、家庭や地域の力を生かした教育を充実します。

教職員一人一人の専門的知識や実践的指導力、キャリアステージに応じて求められる資質能力を育成するとともに、働き方改革を推進し働きがいのある学校づくりを進めます。

いじめや不登校などの課題については、校長のリーダーシップのもと学校全体で取り組む組織づくりを進めます。

そして、新たな時代に向けて、教職員一人一人のICT活用指導力の向上や、学校におけるデジタル化の推進を図るとともに、地域と協力した学校における安全対策の推進と、各種施設の改修や適正配置を進め、持続可能な教育環境を整備します。

また、子育ての孤立化に伴う子育ての不安感・負担感の解消に向け、育児相談や子育て支援に関する講座を実施するほか、青少年や保護者の悩みを相談できる体制を整備し、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの育ちを支援します。

基本的方向(1)学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

基本的方向(2)学校・家庭・地域の力を生かした教育の充実

基本的方向(3)よりよい学校環境の整備・充実

・基本方針Ⅲ 人生100年を通じた生涯学習の推進

人生100年時代を見据え、すべての人が自らの人生を設計し、学び続け、学んだことを生かして活躍できる生涯学習社会を実現するために、市民の学びたい思いに応える多様な学習機会をライフステージに応じて提供するとともに、市民の自主的な人権学習を支援するなど、人権教育・啓発を推進します。

また、市民の文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動の支援、地域の文化財の保護、加古川流域滝野歴史民俗資料館や三草藩武家屋敷旧尾崎家の活用、市民の学びの要求や暮らしを高める図書館サービスの展開により、社会教育の充実を図ります。

基本的方向(1)多様な学習機会の充実

基本的方向(2)人権教育・啓発の推進

基本的方向(3)文化芸術の振興

基本的方向(4)文化財の保護と活用・継承

基本的方向(5)生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進

基本的方向(6)図書館サービスの充実



絵本コーナー

(2) 基本理念イメージ図

基本理念

人間力の育成

～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

重点テーマ

「自立して力強く生き抜く力」の育成

「だれもが尊重される生涯学習社会」の創造

めざす
人間像

- ・夢や志をもち、生涯を通じて学び続け、自己の可能性を高めていく人
- ・ふるさと加東を愛し、共に支え合いながら、豊かな社会を創造していく人

基本方針

I

夢に挑み自立する子どもを育む教育の推進
～学びのつながりを大切にした小中一貫教育の充実～

II

子どもの学びを支える教育環境の整備・充実

III

人生100年を通じた生涯学習の推進

連携・協働

学校・園

地域社会

家庭

3. 体系図

